

人生

ふるや すすむ
古屋 進

幼少期から、何か起これば、パニックになり寝ては忘れて、周りで起きている事に、気付かず、保育園に通ったが、何もやる気が起きず小学校に、行けるかも、わからず一応義務教育を卒業し仲間に、からかわれては人気者になり、高校一年の時、勉強頑張って高校二年の時、学力が段々、追い付けなくなり、卒業したものの、今後、何をしたいか、分からず就職したが、手先が不器用な為、務まらず、日下部記念病院に行き、入院するか生活保護にするか働くかと言われ「働く」と答え、いい会社があるの通って下さいと言われ、注射します今日から障害者です薬を毎食後、寝る前、飲んで下さい。

薬を飲むと、小さい頃から寝てばかりいたのに、余計、眠くなったり疲れたり、ろれつが、まわらなくなったり、仕事も覚えられず、壊したり勘定間違いしたり、休んだり、早退したりしたり、職場で仲間を悪くし続けて辞めた。

その後も辞めたり繰り返して、ハローワークへ行ったが、一般就労が、見つからず、障害者雇用にして、福祉の人に、助けられ、B型就労から最低賃金と年金を、もらいオープンにしてきたが、仕事よりギャンブルに行き休みがち、体調不良もあり辞めた。

また仕事も、みつからず、ハローワークで医師に相談してと言われ43歳の時「入院」

早く仕事したいよ、戻れないのか。とまどい一年七ヶ月入院。病院、グループホーム生活、最初は嫌だった。体験した時に、職員が、笑顔で迎えてくれて、やさしく接してくれたのが「印象的」です。医師と身近な存在になり笑顔で頑張ってくださいと、言われコミュニケーションとれるようになった。

入院終わり頃には、又、事業所や福祉の人と連携して、2回目のB型就労、週4日から段々2日半日になり、今は3回目のB型就労週4日半日仕事。3回とも家族経営で、職業仲間にも恵まれ、OT作業療法「夢が」がふくらみます。

又、加納岩総合病院隣接する。

3回目グループホーム、アパートへ、出て行く為のステップアップです。不安はあります。

病気の症状「幻聴」がうるさい。だるい。頭が痛すぎる。眠くなるアイスノン頓服寝ることが必要です。

「疲れるんだ。」

訪問看護の相談、女性3人、「ラッキー。」

生きていく上で、サポート、人と人の、つながり大事。その輪を、大切にします。

昔で言う「人生50年。」「朝起きた時。」

「生きている。」

「出会えた。」 「君にありがとう。」